

第 23 回日本環境動物昆虫学会セミナー

日 時：2016 年 8 月 30 日（火） 13：00～17：00

場 所：大阪府立大学 I-site なんば C 1（大阪市浪速区敷津東 2-8-1）

主 催：日本環境動物昆虫学会

＜企画委員 中嶋智子（企画委員長）、清水伸泰（幹事）、石川善大、川田 均、木村悟朗、
篠田一孝、平尾素一、宮越 洋＞

後 援：日本家庭用殺虫剤工業会

参 加 費：会 員 2,500 円（個人会員・法人会員「維持会員・賛助会員」・後援企業）

学 生 1,000 円・非会員 3,500 円（参加費には、テキスト代・消費税含む）

これからの駆除処理・殺虫剤の動向

ーノンケミカルから抵抗性問題までー⑤

＜趣旨＞ 本会は「人間の生活環境を清潔、快適ならしめるため、昆虫及び動物の学術的・総合研究の発展ならびに被害防止技術の向上を促進すること」を目的とし、昭和 63 年（1988 年）11 月に設立、発足いたしました。環動昆セミナーの 2012 年からの連続開催テーマである「これからの駆除処理・殺虫剤の動向ーノンケミカルから抵抗性問題まで」も 5 回目を迎えました。社会的生活を営んでいる以上、人間にとって排除すべき害虫はやはり存在し、学会としてその防除・駆除についてあるべき方向を発信していきたいという意図がございます。第 23 回セミナーでは、古くからの不快害虫である「ユスリカ」と最近話題の国内侵入害虫「ツマアカスズメバチ」を取り上げ、講演をお願いしました。それぞれの害虫の生態、現況、防除についてのお話と駆除剤の解説をいただきます。

会員・非会員の区別なく、万障繰り合わせのうえご参加くださるようお願いいたします。

＜プログラム＞

開会挨拶 (13:00～13:10)

水域の不快害虫「ユスリカ」

1 ユスリカ その生態と防除 (13:10～14:10)

信州大学繊維学部 教授 平林 公男

話題提供「ツマアカスズメバチ」

2 「対馬に飛来した外来種、ツマアカスズメバチによる被害」 (14:15～14:55)

ツシマヤマネコを守る会 会長 山村 辰美

— 休 憩 — (14:55～15:10)

3 九州におけるモニタリング結果と防除計画 (15:10～15:50)

環境省九州地方環境事務所 生物多様性保全企画官 田上 真吾

4 新規ピレスロイド系殺虫剤 モンフルオロトリン (15:55～16:40)

住友化学(株)健康・農業関連事業研究所 岡本 ^{ヒロシ} 央

5 質疑応答 (16:40～16:50)

閉会挨拶 (16:50～17:00)

< 参 加 要 領 >

<参加申込>

ファックス・郵便又はEメールでお申込み下さい。定員になり次第締切ります。

<申込み先及び問合せ先>

日本環境動物昆虫学会事務局

〒550-0005 大阪市西区西本町 1-11-1 (本町セントラルハイツ 407)

TEL・FAX 06 (6535) 4684

e-mail r.takagi@f2.dion.ne.jp

<参加費振込先> 三菱東京UFJ銀行信濃橋支店 日本環境動物昆虫学会 普通 3508064

..... キ ... リ ... ト ... リ ... セ ... シ

「第 23 回日本環境動物昆虫学会セミナー」 参加申込書

eメールでお申し込みの場合も下記の全項目をお知らせ下さい

参加者氏名

1. _____ 会員・非会員・学生

2. _____ 会員・非会員・学生

3. _____ 会員・非会員・学生

4. _____ 会員・非会員・学生

住所 (勤務先・大学・自宅)

〒 _____

TEL _____ FAX _____

eメールアドレス _____

所属 (会社名・部署／大学名・学部) _____

上記の通り参加申し込みます。→ 参加費は 月 日付けで、銀行振り込みします。

2016 年 月 日 書類送付者 _____

本状で得た情報は、次回のセミナーのご案内以外には使用いたしません